

NHK 環境報告書 2019

Environmental Report





NHK環境報告書2019

Environmental Report

目次

環境経営の推進

経営目標とエネルギーの使用概況	2
環境経営推進体制	4

事業運営に伴う環境負荷の軽減

職場での省エネ対策の推進	5
放送設備の省エネ化	6
廃棄物の抑制とリサイクル、リユースの推進	9
美術セットの3R計画推進	10

資料

NHK環境経営アクションプラン	12
環境に関する放送番組	14
組織概要	20



経営目標とエネルギーの使用概況

環境負荷の少ない社会の実現に貢献していくため、2018～2020年度「NHK経営計画」をもとに、環境に配慮した経営を推進しています。

地球環境に配慮した経営の推進

大切なことを、より深く、より身近に～“公共メディア”のある暮らし、2018～2020年度「NHK経営計画」を策定し、具体的なアクションプランを立てて環境に配慮した経営を推進しています。

(P.12～13 環境経営アクションプラン参照)

2018～2020年度「NHK経営計画」(抜粋)

- 環境にやさしい経営を推進
- 会館建設や設備更新にあたり、省エネルギー対応を推進

具体的な施策

(1) エネルギー消費量の抑制

ラジオ第2放送やEテレの「深夜の放送休止時間帯の電波停止」を緊急放送への即応体制の確保のもと実施しています。

太陽光発電、自然採光、自然換気など自然エネルギーを活用する設備の設置を実施しています。また、計画的な設備の更新により、省エネ型設備を積極的に導入しています。

全放送局で職場の節電活動、業務用車両のエコ運転活動に取り組んでいます。

(2) 省資源・廃棄物対策の推進

スタジオの美術セットの制作で、環境に優しい素材や無駄の少ないセット構造を検討し、共通パーツを使って複数のセットを効率的に設計しています。

年度目標を定めてコピー用紙使用量の削減活動を実施しています。

NHKのエネルギー使用概要

NHKには、東京・渋谷の放送センターをはじめ全国に54の放送局があります。これに加え、視聴者の皆様にテレビやラジオの電波を送り届けるために放送所や中継所の放送施設が3,000局以上あります。その他に、研究所やアーカイブス、視聴者コールセンター、営業センターなどの施設を運用しています。

CO₂の排出量

2018年度にNHKが全国で使用したエネルギーをCO₂排出量に換算すると191,298トンでした。使用したエネルギーは電力、石油類、ガス類ですが、その9割以上を電力が占めています。

このため、NHKは電力使用量の抑制を重要課題とし、深夜の放送休止時間帯の電波停止、省エネ対応の放送機器の開発・導入、太陽光発電など自然エネルギーの活用、職場の節電活動等を行っています。

CO₂の排出原単位の改善

CO₂排出原単位は、CO₂総排出量(トン)÷有形固定資産総額(百万円)で定義します。2018年度のCO₂排出原単位は、0.144でした。基準年度(2011年度)の値に比べ23%改善となりました。2020年末までの3か年で15%改善を目標としています。

東京都「温室効果ガス排出総量削減義務」の履行に向けて

東京都では「温室効果ガス排出総量削減義務と排出量取引制度」を導入し、2010年4月から燃料、熱、電気の使用量が原油換算で1,500kl以上の都内の事業所を対象にCO₂の削減が義務付けられました。

NHKでは「放送センター」と「放送技術研究所」が対象施設です。

第1計画期間(2010～2014年度)に続く、第2計画期間(2015～2019年度)の5年間は、期間中の排出量を基準排出量に対して、17%以上削減することが求められています。

NHKでは「温室効果ガス排出総量削減義務」を着実に履行するように取り組んでいます。



エネルギー使用概況

	2018年度			2017年度			増減	
	エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	比率	エネルギー使用量	CO ₂ 排出量	比率	増減量	増減率
電力使用量	318,184千kwh	176,592 t	92.3%	320,396千kwh	177,820 t	92.4%	▲2,212千kwh	▲0.7%
ガソリン使用量	1,424 kℓ	3,303 t	1.7%	1,266 kℓ	2,938 t	1.5%	158 kℓ	12.5%
軽油使用量	354 kℓ	926 t	0.5%	352 kℓ	922 t	0.5%	2 kℓ	0.6%
重油使用量	612 kℓ	1,658 t	0.9%	677 kℓ	1,834 t	1.0%	▲65 kℓ	▲9.6%
灯油使用量	857 kℓ	2,134 t	1.1%	894 kℓ	2,226 t	1.2%	▲37 kℓ	▲4.1%
都市ガス使用量	3,186,609 m ³	6,628 t	3.5%	3,221,383 m ³	6,700 t	3.5%	▲34,774 m ³	▲1.1%
プロパンガス使用量	19,018 kg	57 t	0.0%	18,856 kg	57 t	0.0%	162 kg	0.9%
CO ₂ 排出量(合計)	191,298 t			192,497 t			▲1,199 t	▲0.62%
有形固定資産総額	1,330,536百万円			1,297,834百万円			32,702百万円	2.5%
CO ₂ 排出原単位	0.144			0.148			▲0.004	▲2.7%



環境経営推進体制

環境に配慮した事業活動のために、「環境経営推進委員会」のもと、全国各部署での活動を展開しています。

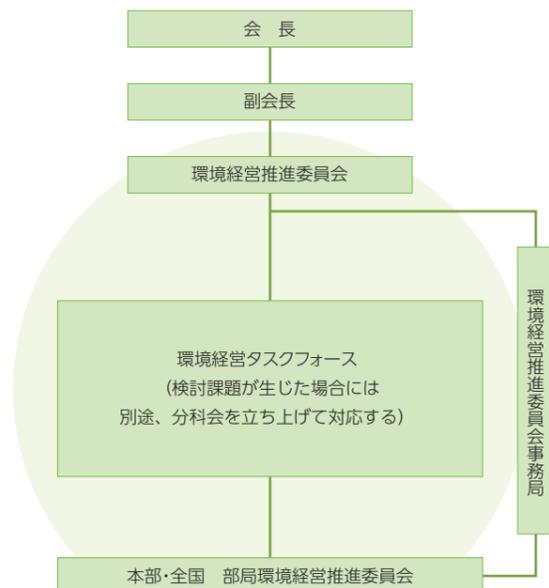
環境経営推進体制

環境へ配慮した事業運営を全局的に進めるために、会長をトップに「環境経営推進委員会」を設置しています。環境経営推進委員会では、CO₂削減の数値目標、アクションプラン等を策定しています。この委員会の下には環境経営タスクフォースを配置し、具体的な検討課題が生じた場合には、分科会を立ち上げて対応します。

「NHK経営計画」を設定し、毎年「アクションプラン」(P.12 参照)を策定・改訂し、より具体的な施策を明示して環境活動を推進しています。

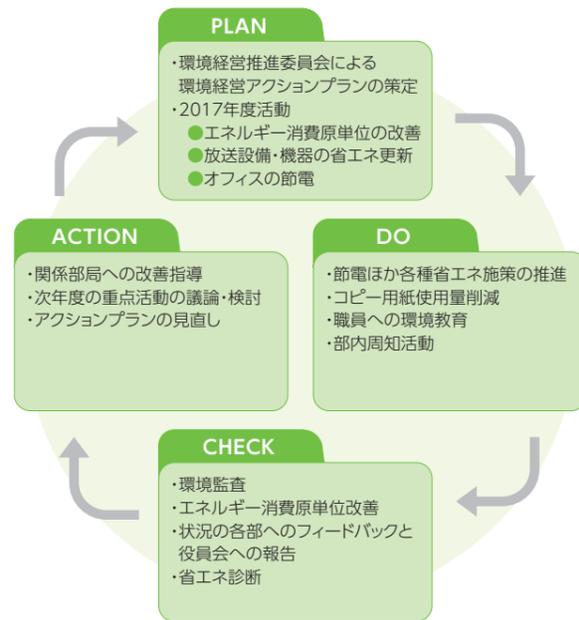
全国各部署・放送局においては、各局に配置した環境経営推進委員長・委員を中心に、各現場での環境活動に取り組んでいます。

■環境経営推進体制



継続的な改善のために

環境活動の実施状況についてPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを回すことで、継続的に取り組みの改善を図り、さらなる内容の充実に努めています。



■視聴者のみなさまとともに

NHKは、実際に環境活動を推進すると同時に、活動の考え方や内容について視聴者のみなさまに知っていただき、みなさまからの信頼をいただくことが大切と考えています。

NHKは、環境活動への取り組みをまとめた「環境報告書」を2002年から発行しています。今年度も「環境報告書」はNHKの公開ホームページでご覧いただくことができます。

環境報告書に対する視聴者コールセンターへの電話・電子メールなど、視聴者のみなさまからさまざまな形でのご意見・ご要望を、今後の目標や活動の改善に活用しています。



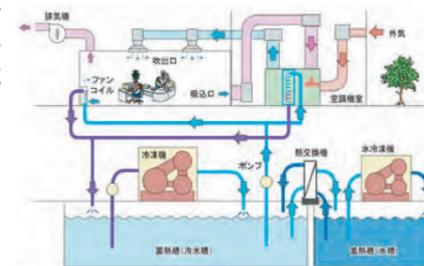
職場での省エネ対策の推進

新しい設備の導入や運用方法の工夫によって、より効率的な省エネに努めています

蓄熱式空調システムの導入

全国の放送会館(地域冷暖房を利用している放送局を除く)において、夜間電力で作成した「冷水・温水」や「氷」を水槽に蓄え、昼間の冷暖房に使用する「蓄熱式空調システム」を導入し、効果的な省エネルギー化を実現しています。

東京・渋谷の放送センターでは、蓄熱システムを有効に利用して電力会社の電力需給が逼迫する時間帯に冷房に使用する電力を平準化することで電力使用量を削減しています。



蓄熱式空調システムの概要

設備更新や新開発設備による省エネ

老朽化した空調設備を更新する際には、高効率な設備を導入して省エネに配慮しています。

放送センターでは2014年度までに6台の蒸気発生機(小型ボイラー)を高効率型に更新しました。

放送センターと福岡放送会館では、空調で使用する冷温水の落差を利用して発電するマイクロ水力発電システムを設置、省エネに寄与しています。



マイクロ水力発電

空調運用における取り組み

全国の放送局でクールビズ、ウォームビズを実施、事務室の室温を夏期は28℃、冬期は20℃を原則にして省エネに努めています。

冷暖房では、暖房に使用する温水はヒートポンプ方式、冷房に使用する冷水はフリークーリング方式という、共に外気の熱を有効に活用する方法を、新会館建設や設備更新時に採用し、省エネに努めています。

放送機器室の冷房では、機器本体が効率的に冷房されるよう、空調の吹き出し方向や風量を調整することで、室内温度設定の上昇、空調機器台数の削減を図る等、適切な空調機器の運用を行っています。

その他、スタジオ運用時間に合わせた必要最小限の冷房運転設定や放送に影響の出ない範囲でのスタジオ内温度設定の見直しなど、こまめな運転の工夫で省エネを進めています。

放送センターの照明における節電

放送センターでは照明を中心に省エネを進めています。日常の運用では間引き点灯、安全性を確保した上で最小限の点灯、昼休みの一斉消灯など、こまめな節電に努めています。また、消費電力の少ないLED、CCFL(冷陰極管)の導入も積極的に進めています。



東館1階喫茶(丸コア)



放送設備の省エネ化

放送技術の分野では、環境負荷の軽減につながる放送設備や機器の開発・導入を進めています。

スタジオ照明の省エネ化

LED照明

NHKでは、環境負荷軽減の1つとして、スタジオ照明設備の使用電力量の削減に積極的に取り組んでいます。

従来の白熱灯に代わる照明器具として、LEDを利用したスポットライト（一点を集中的に照射）、フラッドライト（反射鏡により広域照射）、ホリゾントライト（スタジオ壁面を照射）をメーカーと共同開発しました。

これらのLED照明器具は、番組制作に要求される明るさや色再現性などの性能を確保しながら、従来の白

熱灯に比べ消費電力をおよそ80%削減することができます。また、発熱も少ないため、スタジオ内の空調のための消費電力も削減することができます。全国放送局のニュースや情報番組を制作するスタジオを中心に、順次LED照明器具の導入を進めています。

2018年度は、渋谷放送センターではCT-412、CU-205、CU-201スタジオへ導入したほか、放送局では新金沢放送会館のスタジオ、前橋局、山口局のスタジオへ導入しました。2018年度末現在、全国36の放送局のスタジオと渋谷放送センターの11スタジオで日々の番組制作に活用しています。今後も、スタジオ照明器具のLED化を積極的に進め、環境負荷の低減に努めていきます。



金沢新会館ニューススタジオ



前橋局 TR スタジオ



金沢新会館汎用スタジオ



CT-412 スタジオ

番組設備の省エネ化

番組素材伝送用無線伝送装置 (FPU)

FPUは、ヘリコプターや中継車などからの中継映像を放送局に無線で伝送する装置で全国におよそ1700式配備されています。2018年度に各放送局で更新したFPU



更新前の番組素材伝送用無線伝送装置 (FPU)

(102式)は、高効率な増幅デバイスを採用することで、従来装置と比較して送信高周波部の省電力化（約50%低減）を実現しました。省電力化に伴い、装置内の部品を高密度に組み込むことが可能となり、小型化（約70%低減）、軽量化（約60%低減）も達成して運用性の向上にも寄与しました。今後もさまざま改善を積み重ねながら番組設備の省エネ化を推進していきます。



更新後の番組素材伝送用無線伝送装置 (FPU)

Eテレの深夜休止に向けた補完整備

Eテレの深夜の放送休止時間帯に電波を止めて、消費電力・CO₂を削減する取り組みを進めました。放送休止後に送信機を停止させるために必要な制御時計を、2018年度は親局テレビ放送所の2局（富山、水戸）に整備しました。これにより、年間の消費電力量を約26,600kWh（CO₂換算で約15t）削減できると試算して

います。2018年度で親局テレビ放送所への制御時計の整備は全局完了しました。

この取り組み前と比べて、2009年度から2018年度にかけて、44局の整備を完了し、トータルで年間の消費電力量を約1,042,000kWh（CO₂換算で約628t）削減できると試算されます。



水戸・森林公園テレビ放送所の制御時計



放送会館の建設

金沢新会館

2018年10月にオープンした金沢新放送会館は、環境に配慮した様々な施策の導入により単位面積当たりの

CO₂排出量を、旧会館の実績から約25%削減する計画としています。

全館LED照明の採用、高効率な空調システム、井水利用、外壁面に設置した日射遮蔽ルーバーやLow-eペアガラスによる熱負荷軽減など、環境に配慮した建物になっています。



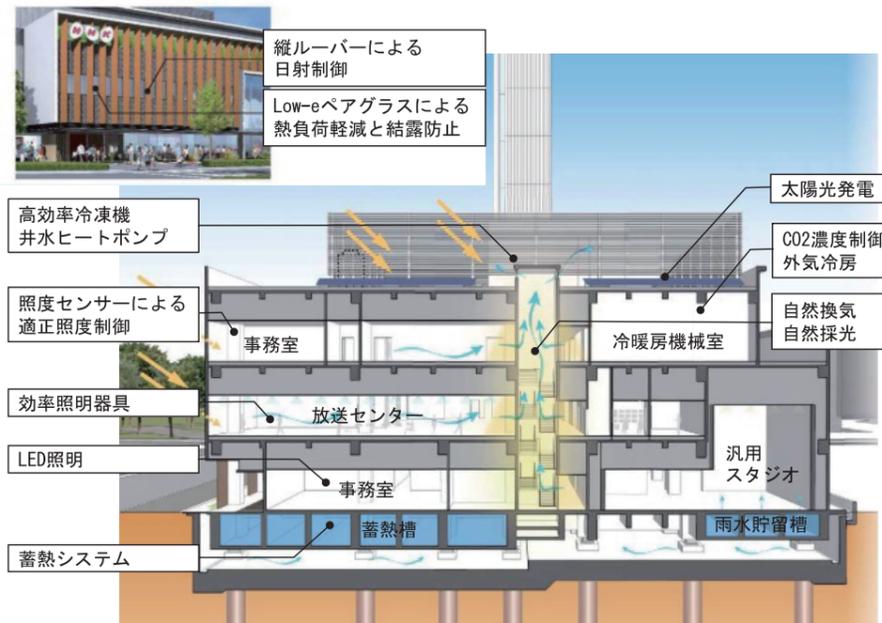
金沢新放送会館の外観



太陽光発電設備



日射遮蔽ルーバー



金沢新会館の省エネルギー技術

廃棄物の抑制とリサイクル、リユースの推進

廃棄物を減らすために、さまざまな取り組みをしています。環境への負荷を軽減するため、ゴミの分別回収の徹底とリサイクルの推進に努めています。

廃棄物の総量抑制

東京・渋谷放送センターの2018年度の廃棄物総量は1,910トンを達成しました（前年度比102%減を達成）。

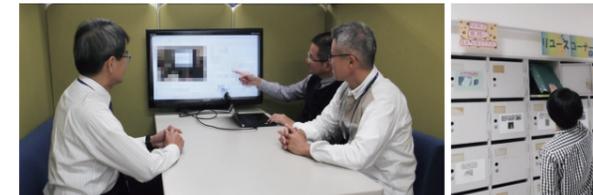
NHKでは、Reduce（リデュース：減量）、Recycle（リサイクル：再資源化）、Reuse（リユース：再使用）に取り組み、廃棄物の抑制と再資源化、再使用化に努めています。



塵埃処理場 放送センターのゴミを分別回収し、ここでさらに細かく分別

<主な取り組み>

1. プロジェクターやタブレット、無線LAN会議システムを利用したペーパーレス会議の推進
2. 申請書類などの電子化による紙ゴミの発生量の抑制
3. 事務用品のリユースコーナーの設置・再活用による文房具廃棄処理の抑制



ペーパーレス会議の推進

リユースコーナーの活用

事業系一般廃棄物の再利用率の向上について

2018年度の総量は887トンを達成し、再利用率の実績は84.7%でした（渋谷区の条例で定められている再利用率 80%を達成）。

放送センターでは、紙ゴミや廃プラスチック類廃棄物等を、より細かく選別するほか、食堂生ゴミの一部を、専門業者により「肥料化」処理するなど、事業系一般廃棄物の削減と再利用率の向上に取り組んでいます。

職員の職場環境改善に関する意識向上活動

放送センターでは、廃棄物の削減に向けて、分別のルールを統一した共通ゴミステーションを設置し、分別回収の徹底に向けて取り組んでいます。分別のルールをわかりやすく表示、容易に判別できるよう工夫し、放送センターで働く人ひとりひとりの意識の向上に努めています。



共通ゴミステーション（分別ゴミ収集ボックス）



美術セットの3R計画推進

～コストの軽減、廃棄物の抑制を推進～

環境に優しい素材や無駄の少ないセット構造を検討し、日々のデザイン計画の中で環境に配慮する取り組みを行っています。

**【Reduce】ごみそのものを減らす【Reuse】繰り返し使う
：美術セットの「リデュース」「リユース」で環境配慮。**

～共通セットパーツの有効利用～

美術セットに共通して使用できる「セットパーツ」を開発し、廃棄物の抑制とコスト削減を推進。ドラマ番組では、設定される時代感や地域色を映像表現するために配置や装飾などを工夫しています。また、3DCGモデルを開発し、実セットと3DCGを合成する技術を活用する

ことで「リデュース」の取り組みも推進している。一般番組汎用セット開発を行い、様々な番組にも流用可能なセットを製作し、個々の番組美術の品質貢献と「リユース」に常に取り組んでいます。

大河ドラマ「いだてん」

～3DCG合成することで実セットを「リデュース」～



「日本橋」ロケ実セット+CG合成

～共通「セットパーツ」を活用して「リユース」～



「主人公が下宿していた足袋屋」



「金栗家」

連続テレビ小説「なつぞら」～共通「セットパーツ」を活用して「リユース」～



「風車」



「雪月」

汎用セット活用例～番組における「リユース」の取り組み～



「2019参院選」



「マラソングランドチャンピオンシップ」汎用セット+装飾パネル

**【Recycle】再利用する
：美術セットの「リサイクル」で廃棄物の抑制**

～再生素材の積極的な利用～

セットなどの土台に使用する平台を今までは杉の無垢材やハニカム構造の特殊木材を使用し製作してきました。

昨年度より平台を更新する際は、リサイクル材料（コンパネ）を使用し製作。「再生素材」を積極的に活用し環境貢献に取り組んでいます。

平台





NHK環境経営アクションプラン

2018～2020年度経営計画の具体化

数値目標	エネルギーを測る指標(CO ₂ 排出原単位※1)を基準年(2011年度)比で2020年度までに15%改善し、CO ₂ の排出抑制に取り組む。 ※1 CO ₂ 排出原単位=CO ₂ 総排出量(トン)÷有形固定資産総額(百万円)	2018年度	2019年度	2020年度
				15%改善
主な環境経営施策	内容	実施計画		
深夜放送休止時間帯の停波実施	ラジオ第2放送で深夜放送休止時間帯の停波を引き続き実施する。	【停波5時間/日程度】		
	Eテレで深夜放送休止時間帯の停波を実施する。(対象地域の拡大、全国展開完了)	【停波3時間/日程度】 2019年度全国展開完了		
東京都環境確保条例CO ₂ 削減義務の履行	放送センターと放送技術研究所において、2015～2019年度(5年間)のCO ₂ 排出量を基準値より17%削減する。	CO ₂ 排出量削減義務▲17%の履行(第2計画期間)		第2計画期間終了後は、東京都が条例で定める削減量を目標とする。
職場節電活動の継続	放送センターおよび全国放送会館のオフィス部門(電灯・コンセント系)の節電活動を継続実施する。	職場の節電活動(電灯・コンセント系電源) (省エネ管理システムにて進捗状況を確認)		
放送センター、放送局の省エネ推進	CCFL、LED照明をはじめとする電灯の省電力化更新を実施する。	電灯設備の省エネ整備(CCFL、LED化)		
	全国放送会館の電力消費量を系統別に把握する省エネ管理システムを活用し、電力削減対策を実施する。(電灯の高効率化更新、空調温度設定・運転時間の見直しなど)	各種節電施策の実施		
	冷凍機更新や空調システムの省エネ更新を実施する。	冷凍機更新2局 空調機更新8局(9か所)	冷凍機更新2局 空調機更新5局	冷凍機更新3局 空調機更新4局
省エネ型放送設備の整備	環境に配慮した省エネ型の放送設備を開発、整備する。	スタジオ照明のLED化、テレビ放送機の高効率化など		
		スタジオ照明4局(5か所) テレビ放送機2局	スタジオ照明7局(9か所) テレビ放送機4局	スタジオ照明8局(11か所) テレビ放送機4局
新放送センターの省エネ化	社会的な要請である、CO ₂ 排出量を抑制した環境にやさしい新放送センター建設に向けた設計を進める。	基本設計、実施設計に省エネ設備を盛り込み、環境に配慮した建物を目指す 新放送センター基本設計		
		情報棟実施設計	(情報棟着工)	
新放送会館の省エネ化	空調・照明設備の高効率化や、太陽光発電、自然エネルギーの利用、屋上緑化などを行い、環境にやさしい放送会館を建設する。	仙台(2018.2)、静岡(2018.3)、金沢	奈良、札幌、大津	
自然エネルギー、余剰エネルギーの活用	放送センター(240KW)、全国放送会館(合計434KW)、菖蒲久喜ラジオ放送所(2,000KW)に整備した太陽光発電、および放送センターに整備したマイクロ水力発電(7KW)の運用を継続する。	放送センター 太陽光発電、マイクロ水力発電の運用		
		全国放送会館 太陽光発電の運用		
		菖蒲久喜ラジオ放送所 太陽光発電の運用		
業務用車両の更新の際の環境への配慮	車両の更新にあたっては、排ガス規制に適合した低公害車両の採用、低公害発電機の搭載など環境に配慮する。	低公害車両・発電機の導入		
事業系廃棄物の削減活動	スペース&オフィス文化改革によりペーパーレスの業務フローを確立し、コピー用紙の削減を実現する。	無線LAN環境整備、業務用PCのモバイル化、電子決裁の運用拡大によるコピー用紙使用量の削減		
	ごみの削減と分別の徹底、リサイクルを行うことで廃棄物総量の抑制を図る。	無線LAN整備10局(地域局) スマートオフィス化の推進 電子決裁試行	無線LAN整備13局(地域局) スマートオフィス化の推進 電子決裁の運用拡大	無線LAN整備継続(2020年度完了予定) スマートオフィス化の推進 電子決裁の運用拡大
	美術セットの3R(Reuse, Reduce, Recycle)計画を推進する。	事務用品のリユース(再利用)の促進、ごみ分別によるリサイクル率の向上		
環境関連番組の放送など	環境関連番組を放送、地域の実情に応じイベントを実施する。	環境問題をとらえた番組の放送、地域の実情に応じたイベントの実施		
職員の省エネに対する意識向上	環境経営に関する情報を積極的に事務局から発信し、職員全員の環境に対する意識改革を図る。	「環境経営だより」、「環境報告書」の発行による情報共有の促進		



環境に関する放送番組

総合テレビの主な番組

うまいっ! (日)／午前8:25～

さわやか自然百景 (日)／午前7:45～

ダーウィンが来た! 生きもの新伝説 (日)／午後7:30～

明日へつなげよう (日)／午前10:05～

NHKスペシャル

7月12日(木) 午後10:00～ 「緊急検証 西日本豪雨
“異常気象新時代”命を守るために」

9月 9日(日) 午後9:00～ 「緊急報告 北海道激震」

10月28日(日) 午後9:00～ 「知床 シャチ 謎の大集団を追え」

11月11日(日) 午後9:00～ 「見えないものが見える川
～奇跡の清流 銚子川～

12月16日(日) 午後9:10～ 「アウラ 未知のイゾラド
最後のひとり」

2019年

1月14日(月) 午後9:00～ 「“冒険の共有” 栗城史多の見果てぬ夢」

1月17日(木) 午後10:00～ 「命をめぐる決断
～災害多発時代 神戸からの問いかけ～

3月 3日(日) 午後9:00～ 「“黒い津波”知られざる実像」

3月11日(月) 午後8:00～ 「震災タイムカプセル”
拝啓 二十歳の自分へ」

NHKスペシャル MEGAQUAKE

9月 1日(土) 午後9:00～ 「南海トラフ巨大地震
迫りくる“Xデー”に備えろ」

NHKスペシャル スペース・スペクタクル

2019年

3月17日(日) 午後9:00～ プロローグ「はやぶさ2の挑戦」

NHKスペシャル ブループラネット

5月 6日(日) 午後9:00～ 第1集「大海原 青い砂漠を生き抜く」

6月 3日(日) 午後9:00～ 第2集「浅瀬の海 命ひしめく巨大都市」

7月 7日(土) 午後9:00～ 第3集「海辺 せめぎ合う海と陸の生命」

NHKスペシャル 廃炉への道2019

2019年

3月16日(土) 午後9:00～ 「核燃料デブリとの闘いが始まった」

あさイチ

7月30日(月) 午前8:15～ 「台風12号・西日本豪雨の被災地に
どんな影響が？」

8月27日(月) 午前8:15～ 「西日本豪雨“被災地の再建
いま必要なこと”」

10月 3日(水) 午前8:15～ 「どこまで身近に
再生可能エネルギー」

10月17日(水) 午前8:15～ 「西日本豪雨から3か月
暮らしを立て直すには」

くらし☆解説

4月18日(水) 午前10:05～ 「冷たい? 熱い? サンゴの危機」

6月26日(火) 午前10:05～ 「そのブロック塀や石積みの塀は大丈夫?」

7月 4日(水) 午前10:05～ 「世界自然遺産へ どうする奄美・沖縄」

7月24日(火) 午前10:07～ 「この夏の異常な猛暑と熱中症対策」

9月11日(火) 午前10:05～ 「地震や豪雨で相次ぐ土砂災害
どう身を守る?」

9月27日(木) 午前10:05～ 「放鳥10年 あなたの街にもトキが飛ぶ?」

11月30日(金) 午前10:05～ 「温暖化に“適応”できますか?」

12月 6日(木) 午前10:05～ 「日本産食品の規制はいま」

2019年

2月27日(水) 午前10:05～ 「知床・北方四島
流水と森が造る一体の自然」

3月12日(火) 午前10:05～ 「震災8年 原発避難の人たちは」

3月19日(火) 午前10:05～ 「ライチョウ初公開と高山生態系の危機」

クローズアップ現代+

5月 9日(水) 午後10:00～ 「ペットボトルごみがついに限界!?
～世界に広がる中国ショック～」

7月 5日(木) 午後10:00～ 「“キロクアメ”に異例の猛暑
この夏どうなる?」

7月 9日(月) 午後10:00～ 「緊急報告 記録的大雨
～被害はなぜ広範囲に及んだのか～」

9月10日(月) 午後10:00～ 「暴風高潮 恐怖の瞬間
～台風から身を守るには～」

11月 1日(木) 午後10:00～ 「“リサイクル破綻”どう解決?
～脱プラスチック社会への模索～」

2019年

3月 7日(木) 午後10:00～ 「今も10万か所以上
除染ごみがなくなるらない」

これでわかった! 世界のいま

7月15日(日) 午後6:10～ 海洋汚染
プラスチック製ストローをやめる動き

12月 9日(日) 午後6:05～ 温暖化対策を話し合うCOP24
問題の背景や注目点

さわやか自然百景 新春特集

2019年

1月 2日(水) 午前7:20～ 「日本列島 動く大地に命つなぐ」

ディープオーシャン

6月25日(月) 午前1:10～ 「絶景 南極の海」

ディープオーシャン 世界の深海

6月26日(火) 午前2:30～ 「神秘的発光生物 北米・モンレー湾」

6月27日(水) 午前2:30～ 「氷の海の巨大生物 南極海」

6月28日(木) 午前2:35～ 「太古の生き物が潜む ニューギニア島」

6月30日(土) 午前2:20～ 「超深海 極限に生きる マリアナ海溝」

ドキュメント72時間

5月25日(金) 午後10:45～ 「春の日本海 ホタルイカを待ちながら」

8月24日(金) 午後10:45～ 「東京湾 真夏の海釣り公園」

ノーナレ

4月30日(月) 午後10:45～ 「けもの道 京都いのちの森」

プロフェッショナル 仕事の流儀

7月30日(月) 午後10:25～ 「反骨の農家、実りの遠野物語
～農業経営者・多田克彦～」

8月27日(月) 午後10:25～ 「撮って、僕らのこころ
～昆虫写真家・栗林慧～」

解説スタジオ

7月16日(月) 午前11:00～ 「広域豪雨災害から人々をどう守るのか」

時論公論

5月18日(金) 午後11:40～ 「自然遺産延期へ」

5月31日(木) 午後11:40～ 「森林バンク開始」

6月 7日(木) 午後11:40～ 「中小河川の防災」

6月27日(水) 午前1:00～ 「世界遺産の島」

7月11日(水) 午後11:40～ 「東海第二再稼働」

8月 1日(水) 午後11:40～ 「核燃サイクルは」

8月 2日(木) 午後11:40～ 「気象災害の激化」

9月25日(火) 午後11:40～ 「原発汚染水処理」

10月10日(水) 午後11:40～ 「地球温暖化」

10月15日(月) 午後11:40～ 「太陽光初の抑制」

11月 9日(金) 午後11:40～ 「太陽光2019問題」

11月14日(水) 午後11:40～ 「脱プラスチック」

12月19日(水) 午後11:40～ 「もんじゅ後継は」

2019年

1月15日(火) 午後11:40～ 「地球温暖化課題」

3月11日(月) 午後11:40～ 「廃炉への遠い道」

3月12日(火) 午後11:40～ 「原発事故の責任」

第38回 全国豊かな海づくり大会 高知家(こうちけ)大会

10月28日(日) 午後4:00～

第69回 全国植樹祭 ふくしま2018

6月10日(日) 午後2:15～

日曜討論

8月26日(日) 午前9:00～ 「ニッポンの夏に何が…」



Eテレの主な番組

しぜんとあそび (火) / 午後3:45～

なりきり! むーにゃん生きもの学園 (土) / 午前7:15～

学ぼうBOSAI 地球の声を聞こう (木) / 午前9:55～

NHK高校講座 生物基礎 (火) / 午後2:40～

NHK高校講座 地学基礎 (水) / 午後2:40～

NHK高校講座 地理 (金) / 午後2:40～

猫のしっぽ カエルの手 2018
～京都大原 ベニシアの手づくり暮らし～ (土) / 午後3:00～

福島をずっと見ているTV (日) / 午前0:00～

ETV特集

4月21日(土) 午後11:00～ 「僧侶たちの原発事故」
6月 2日(土) 午後11:00～ 「“核のごみ”に揺れる村
～苦悩と選択 半世紀の記録～」

2019年

3月 2日(土) 午後11:00～ 「原発事故 命を脅かした心の傷」
3月 9日(土) 午後11:00～ 「誰が命を救うのか 医師たちの原発事故」

TVシンポジウム

12月 1日(土) 午後2:00～ 「被災経験と知恵を世界に」
12月22日(土) 午後2:00～ 「どう進める? 再生可能エネルギー」

サイエンスZERO

4月29日(日) 午後11:30～ 「巨大空間発見!
解き明かされる秋芳洞のヒミツ」
5月 6日(日) 午後11:30～ 「世界記録更新! 驚異の超深海魚」
6月24日(日) 午後11:30～ 「寄生生物が世界を変える!」
7月 8日(日) 午後11:30～ 「こじり緊急報告! 沖縄のサンゴ礁」
9月 2日(日) 午後11:30～ 「キノコが雨を降らす!?
空の微生物学者 気象のナゾに挑む」
9月16日(日) 午後11:30～ シリーズ原発事故(18)
新技術で挑め! 見えざる廃炉のリスク
10月28日(日) 午後11:30～ 「シリーズ原発事故(19)
“被ばく量”解明への挑戦」
9月16日(日) 午後11:30～ 「サイエンススタジアム2018
アンモナイトのミステリー」
10月28日(日) 午後11:30～ 「サイエンススタジアム2018公開収録
小笠原で体感。数百万年の進化の旅」

2019年

2月17日(日) 午後11:30～ 「不老不死! ?のほ乳類
ハダカデバネズミ」
3月10日(日) 午後11:30～ 「巨大地震予測の新たなカギ
スロースリップ」

香川照之の昆虫すごいぜ!

5月 3日(木) 午前9:20～ 「4時間目 クマバチ」
10月 8日(月) 午前9:00～ 「5時間目 ハンミョウ」

2019年

1月 1日(火) 午後6:00～ 「お正月スペシャル
カマキリ先生☆冬の森で初暴れ」
7月30日(月) 午前9:00～ 「実録! 完全変態」

植物に学ぶ生存戦略 話す人・山田孝之

9月27日(木) 午後11:00～

食卓と人をつなぐ～第48回日本農業賞～

2019年

3月23日(土) 午後3:00～

地球ドラマチック

4月14日(土) 午後7:00～ 「ジャングル動物病院
～中米 野生動物を救え～」
5月26日(土) 午後7:00～ 「水の都ベネチア レスキュー大作戦!」
6月 2日(土) 午後7:00～ 「ヒヒの女王 トップの物語
～アフリカ ボツワナ～」
8月11日(土) 午後7:30～ 「史上最大! 動物図鑑～水の世界～」
8月18日(土) 午後7:00～ 「史上最大! 動物図鑑～陸の世界～」
9月15日(土) 午後7:00～ 「レッサーバング 子育ての物語
～ヒマラヤの森の中で～」
10月27日(土) 午後7:00～ 「天空の神秘 オーロラの謎」
11月10日(土) 午後7:00～ 「チーター親子 サバンナに生きる」
12月 8日(土) 午後7:00～ 「太陽と人類 すべては太陽から始まった」
12月29日(土) 午後7:00～ 「ガラパゴス体験記～楽園の海を守る～」

2019年

1月12日(土) 午後7:00～ 「動物たちの24時間 ジャングル編」
1月19日(土) 午後7:00～ 「動物たちの24時間 砂漠編」
2月 2日(土) 午後7:00～ 「スカンジナビアの森で
3匹のこぐまの物語」
2月 9日(土) 午後7:00～ 「パリ 動物たちの恋物語」
3月 2日(土) 午後7:00～ 「サンゴ礁の海 ラグーン
～小さな魚 マニーニの冒険～」

未来広告ジャパン!

2019年

2月20日(水) 午前9:30～ 「自然環境を守る」
3月 6日(水) 午前9:30～ 「自然災害から命と暮らしを守る」

BS1の主な番組

BS1スペシャル

6月17日(日) 午後10:00～ 「被曝の森2018(前編)
見えてきた“汚染循環”」
6月17日(日) 午後11:00～ 「被曝の森2018(後編)
“汚染循環”は何をもたらすのか」
11月18日(日) 午後9:00～ 「地震で水が襲ってきた」

2019年

2月20日(水) 午後7:00～ 「東京ロストワールド
秘島探検の全記録」(前編)
2月20日(水) 午後8:00～ 「東京ロストワールド
秘島探検の全記録」(後編)
3月10日(日) 午後10:00～ 「緊急被ばく医療の闘い
～誰が命を救うのか～」(前編)
3月10日(日) 午後11:00～ 「緊急被ばく医療の闘い
～誰が命を救うのか～」(後編)

BS世界のドキュメンタリー シリーズ 風の歌を聴く

7月 3日(火) 午前0:00～ 「原音のサバンナ」
7月 6日(金) 午前0:00～ 「檜(なら)の森に守られて
～ペルシャリスの四季～」
7月 8日(日) 午前0:00～ 「果てしなき星空」

国際報道2018

4月12日(木) 午後10:00～ 特集・原子力大国フランスの国家戦略
「廃炉ビジネス」
7月24日(火) 午後10:00～ 中国廃プラスチック輸入禁止の波紋

BSプレミアムの主な番組

コズミック フロント☆NEXT (木) / 午後10:00～

ニッポンの里山 ふるさとの絶景に出会う旅 (木) / 午前7:00～

にっぽん百名山 (月) / 午後7:30～

ワイルドライフ (月) / 午後8:00～

晴れ、ときどきファーム! (金) / 午後11:00～

グレートネイチャー・スペシャル

“赤道直下40000キロ 光と影の物語”
4月14日(土) 午後7:30～ 第4回「ガラパゴス 進化の島の人間たち」
5月12日(土) 午後7:30～ 第5回「エクアドル 天空の記憶」
6月30日(土) 午後7:30～ 第6回「ブラジル 森と漂流者たち」

にっぽんトレッキング100

7月 4日(水) 午後9:00～ 「熊野・神秘の森を歩く」

驚き! 地球! グレートネイチャー

12月27日(木) 午後0:00～ 「超絶! 南北アメリカ大激突
～中米・マグマと水の奇跡～」

体感! グレートネイチャー

4月28日(土) 午後7:30～ 「噴火連発! 中央アメリカ火山帯
～プレート分裂の大地をゆく～」

特集 ニッポンの里山 ふるさとの絶景に出会う旅

2019年

3月27日(水) 午前7:00～ 「人といのちの絶景物語 棚田」
3月28日(木) 午前7:00～ 「人といのちの絶景物語 森と林」
3月29日(金) 午前7:00～ 「人といのちの絶景物語 水辺」
3月30日(土) 午前7:00～ 「人といのちの絶景物語 花園」

発見! 体感! にっぽん水紀行

7月28日(土) 午後6:30～ 「宮崎・高千穂峡から延岡へ」
9月 1日(土) 午後6:30～ 「祭り人と水の都～大阪～」
11月17日(土) 午後6:30～ 「清流とともに生きる 松山 西条」
12月 8日(土) 午後6:30～ 「ぬくもりあふれる水景色
～青森 八戸～」
12月22日(土) 午後6:30～ 「歴史の里で水に育まれ
～岐阜 飛騨高山～」

2019年

2月 9日(土) 午後6:30～ 「いのち育む井戸を巡る 岩国・周防大島」



BS4Kの主な番組

- コズミック フロント☆NEXT (火)／午後9:00～
- さわやか自然百景 (土)／午前9:30～
- ダーウィンが来た! 生きもの新伝説 (火)／午後7:00～
- ニッポンの里山 ふるさとの絶景に出会う旅 (土)／午前8:50～
- にっぽん百名山 (火)／午後7:30～
- ワイルドライフ (火)／午後8:00～
- 小さな旅 (金)／午後7:00～
- 4Kでよみがえるあの番組 新日本紀行 (土)／午前8:00～
- 4Kで体感! 南極の大自然
12月 2日(日) 午後8:00～
- 裏磐梯五色沼 中村征夫 神秘の水中世界を撮る
12月 4日(火) 午後2:00～

BS8Kの主な番組

- 8Kで体験! 牧野植物ふしぎ図鑑
12月15日(土) 午後0:00～
- 8K深海大探検
2019年
3月27日(水) 午後9:30～
- 奄美の海 奇跡のサンゴ礁
2019年
3月31日(日) 午後9:00～
- 屋久島 空の黒潮 海から始まる命の物語
12月 2日(日) 午後2:45～
- 故郷をつなぐ鮭(さけ)～福島 檜葉町～
2019年
3月 3日(日) 午後2:30～
- 深海の大絶景
2019年
2月10日(日) 午後7:00～ **「世界初! 8Kが見た海底1300mの秘境」**
- 水とめぐる四季～台湾そして北海道～
2019年
3月31日(日) 午後4:00～
- 蔵王～四季彩 巡りて～
12月 9日(日) 午前11:20～
- 南極大冒険 ～空から迫る 氷の絶景～
2019年
2月24日(日) 午後8:00～
- 南極大冒険 ～氷の大地で探る 地球の未来～
2019年
2月10日(日) 午後8:00～
- 南極大冒険 ～密着! ペンギンの楽園～
2019年
2月17日(日) 午後8:00～
- 北米イエローストーン 躍動する大地と命
12月 1日(土) 午後3:40～

ラジオ第1の主な番組

- Nらじ (月)～(金)／午後6:00～
- 6月27日(水) **【特集】プラスチック海洋汚染 必要な対策は**
- 7月 4日(水) **【ニュースアップ】サンマ漁獲量規制**
- 10月18日(水) **【特集】どうする原発汚染水対策 今後の課題**
- 10月24日(水) **【特集】東京で水害が起きたら…**
見えてきたこんな危険性
- 11月20日(火) **【ニュースアップ】紙製ストロー生産の現状は**
- 12月 3日(月) **【特集】衣服も環境を壊す? 世界が動き始めた**
- 12月12日(水)
- ～14日(金) **【ニュースアップ】COP24 現地レポート**
- 12月19日(水) **【特集】極地から考える地球温暖化**
- 12月25日(火) **【ニュースアップ】記録づくめ 今年の気象まとめ**
- 2019年
- 2月 4日(月) **【ニュースアップ】恵方巻きロス ことしは**
- 2月 5日(火) **【トピック】持続可能と私たちの食生活**
- 2月20日(水) **【特集】野生動物による被害が深刻**
狩猟の役割と課題は
- 3月 8日(金) **【特集】福島の魚 常磐もの復活への道のりは**
- 3月11日(月) **【特集】原発事故から8年**
見えにくくなる原発避難者の心
- NHKジャーナル (月)～(金)／午後10:00～
- 4月 3日(火) **「住民の意見を生かす防潮堤」**
- 4月17日(火) **「四日市公害から半世紀 記憶をどう残すか」**
- 6月 6日(水) **「燃料電池トラック」**
- 7月 3日(火) **「生涯木育で林業を変えたい」**
- 7月12日(水) **「未来の家実証実験」**
- 8月27日(月) **「どうする日本の温暖化対策」**
- 8月28日(火) **「バイオセメントで海藻のある海へ」**
- 10月22日(月) **「海と川のプラごみを減らせ」**
- 11月19日(月) **「アスベスト問題は今」**
- 12月 3日(月) **COP24特集①「COP24とは」**
- 12月11日(火) **「木材ストロー」**
- 12月17日(月) **「COP24取材報告」**
- 2019年
- 1月28日(月) **「昔と一変! 東京の水道水」**
- 子ども科学電話相談 7～8月および12～1月
- 2018年7月23～27日、7月30日～8月3日、
8月23日・24日、8月27日～31日 午前8:05～
- 「夏休み子ども科学電話相談」**
- 2018年12月24～28日 午前8:05～
- 2019年1月 2日・3日 午後2:20～
- 2019年1月 4日 午後2:05～
- 「冬休み子ども科学電話相談」**

NHKワールドTVの主な番組

- Asia Insight
11月16日 **オランウータンを救え ～インドネシア～**
- Biz Stream
6月 2日 **農業の水不足危機を救いビジネスチャンスに**
- 8月11日 **TOKYO2020をクールダウンせよ!**
- 12月 1日 **日本発! 再生可能エネルギーへの挑戦**
- 2019年
- 2月 2日 **廃棄食材でビジネス展開せよ!**
- Direct Talk
7月23日 **海洋生物学者・国立極地研究所**
生物圏研究グループ准教授 渡辺佑基
- 7月26日 **FAO国連食糧農業機関・上席水産専門官**
マニエール・バラランジェ(イタリア)
- 12月3日 **環境問題研究家 カール・ポープ(アメリカ)**
- great gear
6月30日 **洗剤を使わずに汚れを落とすエコ商品**
- 8月18日 **沖縄のサンゴ礁を守るための日焼け止め**
- 2019年
- 1月26日 **「エコプロ2018」「Eco Products2018」**
- Inside Lens
7月16日 **MOTTAINAI! 食品廃棄大国ニッポン**
- 2019年
- 1月14日 **カルガモ3000羽で無農薬米作りに挑む～タイ**
- RISING
11月22日 **宇宙ゴミを回収せよ!**
宇宙ベンチャーCEO 岡田光信
- 2019年
- 3月14日 **水陸両用の防災EV新技術で世界へ**
EVベンチャー社長 鶴巻日出夫

NHKは、みなさまの受信料で成り立つ 「公共放送」です



組織概要

● 名 称 日本放送協会(NHK)

● 設 立 1925年3月22日 社団法人「東京放送局」仮放送開始
1950年6月1日 放送法による特殊法人「日本放送協会」設立

● 本部所在地 東京都渋谷区神南2-2-1

● 職 員 数 10,318人(2018年度)

● 財 政 状 況 事業収入 7,332億円(2018年度決算額)
事業支出 7,060億円(2018年度決算額)

● 放 送 局 全国54か所(本部を含む)

● 国内放送	地上放送	総合テレビジョン 教育テレビジョン	
	衛星放送	BS1 BSプレミアム	2018年12月1日～ BS4K BS8K
	ラジオ放送	ラジオ第1放送、ラジオ第2放送、FM放送	

● 国際放送 NHKワールド JAPAN
NHKワールド・プレミアム
NHKワールド・ラジオ日本



NHK放送センター (東京・渋谷)

本報告書について

報告対象範囲: 日本放送協会(海外総支局を除く国内全局所)
報告対象期間: 2018年度(2018年4月~2019年3月)を中心に記載
発 行: 2020年3月

NHK 環境報告書
Environmental Report
2019

NHK 環境経営推進委員会事務局 (NHK 総務局内)
〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

<http://www.nhk.or.jp/pr/keiei/kankyou/>
